

ジャックと豆の木

大分大学教育学部附属幼稚園（文責／園長 石川照代）



楽しいな!
プール遊び!



安全に!
楽しく!

今年も、水あそびの恋しい季節が来ました。プールでの遊びは楽しい反面、常に危険と隣り合わせです。幼稚園では、丁寧に安全指導をし、十分な目で見守るようにして実施しています。ただ、子どもの体調などが大きく関わりますので、朝の健康チェック（カードの記入）なども日頃以上に慎重をお願いします。

ところで、毎年、全国で水の事故で命を失うのは何人くらいかご存知ですか？約800人です！事故現場は海や川が多く、水遊びは、特に子どもにとってはとてもリスクです。休日等に出かけることもあるかと思いますが、家庭でも油断無きよう、くれぐれもご注意下さいね！

「十人十色」で且つ「大胆不敵」、その行いや「予測不能」な事この上なく、未だ未だ「他力本願」なり。
「天真爛漫」であるがゆえの「悲喜交々」の現実にも、先生方は、「泰然自若」として、「破顔一笑」す。「苦心惨憺」「疲労困憊」にも関わらず、一途に子らの「無病息災」なるを喜び、子どもらの「梅檀双葉」また「大器晚成」なるを信じて疑わぬ。「教学相長」を貫きて、「一意専心」「一心不乱」に保育道を突き進むなり。これ保育者の鑑なり。

（四字熟語十六個使用！）

ちよつとした言葉遊びにて御免！

いと面白きは、3歳児なり。
「四字熟語」でしづめられなるままに

初めての○○

我が子もこんなだったのだろうか・・・？我が子の保育園での様子を殆ど知らなかったことを、これほど残念に思ったことはない。「初めての○○」は我が子にもきっとあったはず・・・。見たかった！

3歳児さんにとって、毎日の園生活は、初めてのことだらけである。その日は、「初めての粘土」だった。大きな粘土の塊を、素手で掴んで力いっぱい床に叩きつけたり、裸足でこれでもかと踏んづけたり、先生のまねしてぐいぐい捏ねたり延ばしたり・・・。

はじめは、指先で恐る恐る触っていたとも君（仮名）が、次第に目をキラキラさせて粘土の冷たくて柔らかい感触に見る見るはまっていった・・・。子どもたちの優しく暴力的な扱いを全て受け入れて、粘土はされるがままに形を変える。そして最後は、ピザやホットケーキやペロペロキャンディーになっていたのだった・・・。

「遊びの中に学びがある」という。目の前に繰り広げられた、わずか二、三十分のこの「粘土遊び」は、「人類の辿った進化の過程」を見るような、まさに驚くべき光景だった。

「初めての○○」には、これからも大注目である！



み～んな大満足！